



バックアップと復元の設定

- [「バックアップ サーバの設定」](#)
- [「スケジュール バックアップの参照」](#)
- [「スケジュール バックアップの追加」](#)
- [「手動でのバックアップの開始」](#)

バックアップ サーバの設定

バックアップ処理を開始する前に、バックアップ設定パラメータを設定します。

始める前に

次の値を集めます。

表 29 バックアップ設定パラメータ

パラメータ	説明
Server URL	バックアップ ファイルが保存されているネットワーク上のサーバの URL。 形式は ftp://<server/directory>/ で、<server/directory> は、バックアップ サーバの IP アドレスまたはホスト名です。
User ID	バックアップ サーバのユーザ ID。 データをバックアップするサーバ上には、ユーザのアカウントが必要です。匿名のユーザ ID は使用しないでください。
Password	バックアップ サーバのユーザ ID のパスワード。
Maximum revisions	バックアップ サーバに保存するバックアップ データのリビジョンの最大番号。 最大番号は 50 です。デフォルト値は 5 です。

手順

ステップ 1 [Administration] > [Backup / Restore] > [Configuration] を選択します。

[Backup / Restore Configuration] ページが表示されます。

ステップ 2 [表 29](#) に示された情報を入力します。

ステップ 3 [Apply] をクリックして、情報を保存します。

関連項目

[「バックアップと復元の設定」](#) の目次ページに戻る

スケジュール バックアップの参照

手順

- ステップ 1** [Administration] > [Backup / Restore] > [Scheduled Backups] を選択します。
次の情報が示された [Backup / Restore Configuration] ページが表示されます。
- 名前
 - 説明
 - スケジュール
 - 次の実行
 - 保存するバックアップのカテゴリまたはデータのタイプ
- ステップ 2** 各ページで異なる数のスケジュール バックアップを参照するには、右上のドロップダウン ボックスから別の数を選択し、[Go] をクリックします。10、25、50、100、またはすべてのスケジュール バックアップを参照するよう、選択できます。
- ステップ 3** 他のページに移動するには、右下にある左右矢印ボタンを使用するか、または他のページ番号を入力して Enter を押します。
- ステップ 4** スケジュール バックアップを並べ替えるには、任意の見出しをクリックします。
-

関連項目

[「バックアップと復元の設定」](#) の目次ページに戻る

スケジュール バックアップの追加

ジョブを一度または次の頻度で繰り返すよう、スケジュール バックアップを設定できます。

- N 日ごとの特定の時刻
- N 週ごとの特定の日付と時刻
- N か月ごとの月の特定の日付と時刻
- N 年ごとの特定の日付と時刻

始める前に

- データのバックアップに使用されるサーバを設定します。[「バックアップ サーバの設定」](#) を参照してください。
- システム設定を保存します。[「システム設定の管理」](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [Administration] > [Backup / Restore] > [Scheduled Backups] を選択します。
[Backup / Restore Scheduled Backup] ページが表示されます。
- ステップ 2** [Schedule Backup] をクリックします。
[Backup / Restore Scheduled Backups] ページが表示されます。
- ステップ 3** スケジュール バックアップの名前と説明を入力します。
- ステップ 4** 保存するデータのタイプのチェックボックスをオンにします。次のいずれか一方または両方を選択できます。
- [Configuration] : システムとアプリケーションの設定を保存します。
 - [Data] : アプリケーション データと音声メッセージを保存します。
- ステップ 5** [Schedule] タブから、スケジュール バックアップの頻度を選択します。
- [Once]
 - [Daily]
 - [Weekly]
 - [Monthly]
 - [Yearly]
- ステップ 6** スケジュール バックアップを開始するかどうかを選択します。
- [Immediately]
 - 特定の日付または時刻
- ステップ 7** [Add] をクリックします。
-

関連項目

[「バックアップと復元の設定」の目次ページに戻る](#)

手動でのバックアップの開始

始める前に

- データのバックアップに使用されるサーバを設定します。[「バックアップ サーバの設定」](#)を参照してください。
- 設定を保存します。[「システム設定の管理」](#)を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [Administration] > [Backup / Restore] > [Start Backup] をクリックします。
[Backup / Restore Start Backup] ページが表示され、バックアップ ID が自動的に生成されます。サーバをバックアップするたびに、バックアップ ID が 1 増加します。
- ステップ 2** たとえば「backupdata6-2-04」などの、バックアップ ファイルの説明を入力します。

- ステップ 3** 保存するデータのタイプのチェックボックスをオンにします。次のいずれか一方または両方を選択できます。
- [Configuration] : システムとアプリケーションの設定を保存します。
 - [Data] : アプリケーション データと音声メッセージを保存します。
- ステップ 4** [Start Backup] をクリックします。
- ステップ 5** 確認メッセージで、[OK] をクリックします。
-

関連項目

[「バックアップと復元の設定」](#) の目次ページに戻る

復元の開始

設定データのバックアップ後は、新たなインストールまたはアップグレードごとに復元できます。

始める前に

バックアップ サーバを設定します。[「バックアップ サーバの設定」](#) を参照してください。

手順

-
- ステップ 1** [Administration] > [Backup / Restore] > [Start Restore] を選択します。
- 次のフィールドが示された [Backup / Restore Start Restore] ページが表示されます。
- [Backup ID] : 前のバックアップのバックアップ ID。
 - [Version] : バージョン。
 - [Description] : このバックアップの名前。
 - [Backup Time and Date] : このバックアップが行われた日付と時刻。
 - [Categories] : 復元するデータのタイプ。
- ステップ 2** 復元する設定が含まれる行を選択します。
- ステップ 3** 保存するデータのタイプのチェックボックスをオンにします。次のいずれか一方または両方を選択できます。
- [Configuration] : システムとアプリケーションの設定を保存します。
 - [Data] : アプリケーション データと音声メッセージを保存します。
- ステップ 4** [Start Restore] をクリックします。
-

関連項目

[「バックアップと復元の設定」](#) の目次ページに戻る